

イノベーション・コスト構想の各プロジェクトの進捗状況

資料3-3

1. 既に事業化が進んでいるもの			事業概要	進捗状況・スケジュール(案)
国	ロボット	福島浜通り実証区域	○橋梁、トンネル及びダム・河川その他山野等を利用したロボット実証区域。 ※2/10時点で14の開発事業者から31実証試験希望が出され、市町村から提案のあった13の実証区域候補とマッチング中。	○8月12日、南相馬市下太田工業用地で実証区域第1号案件を実施。現在までに4件(①南相馬市下太田工業用地、②南相馬市横川ダム、③楓葉南小学校、④相馬市産業廃棄物埋立処分場)の実証区域を決定、6件の実証試験を実施。 ○相馬市、南相馬市、楓葉町にて事業者を集めて現地説明会を開催済み。
	放射線物質分析・研究施設	○燃料デブリや放射性廃棄物などの性状把握、処理・処分技術の開発などを実施。	○平成29年度の運用開始を目指す。 ○大熊町に立地決定。	
	廃炉ロボットの屋内実証拠点(モックアップ施設)	○原子炉格納容器の調査・補修ロボットの開発・実証試験、燃料デブリ取り出しの実証試験などを実施。	○楓葉町にて、昨年9月に一部運用開始(研究管理棟)。昨年10月19日に開所式。3月30日に施設完成式開催予定。 ○4月頃: 試験棟の運用開始予定。	
	廃炉国際共同研究センター 国際共同研究棟	○多様な分野の国内外の大学、研究機関、企業等が集結し、廃炉研究を強化。	○平成28年度の運用開始を目指す。 ○平成27年8月、富岡町王塚地区に立地を決定。同年12月に立地地点の地番を公表。 ○平成29年3月竣工予定。	
2. 早期に事業化を目指すもの			事業概要	進捗状況・スケジュール(案)
国	ロボット	テストフィールド	○テストフィールドに加え、県内企業向けの支援機能も整備。	○平成28年度以降、事業化。 ○平成28年度予算案において、ロボットテストフィールドの整備のため、51.0億円の予算を盛り込んだ。 ○1月21日、経済産業省と福島県において整備・運営に関する協定を締結。
	国際産学連携	産学官共同研究室(a)(ロボット)	○ロボット技術の共同研究施設を設置。	○平成28年度以降、事業化。 ○平成28年度予算案において、ロボット技術等の共同利用施設の整備等のため、21.7億円の予算を盛り込んだ。 ○1月21日、経済産業省と福島県において整備・運営に関する協定を締結。
	情報発信(アーカイブ)拠点	○27年4月、県に有識者会議を立ち上げて具体化。 ※①展示・交流エリア、②資料エリア、③研究エリアをベースに検討。	○有識者会議を5回開催し、施設の機能、内容等を取りまとめた。(昨年9月10日に報告書を知事へ提出) ○平成32年度の運営開始を目指す。	
	スマート・エコパーク	○新たに研究会を設立し、産学官によるネットワークを形成し、浜通り地域を中心につながる環境・リサイクル産業の集積を図る。 ○研究会を通じて、新たなリサイクル事業の実証や人材育成等を実施。	○県において昨年8月10日に「ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会」の設立総会を開催し、141団体が参加。 ○新たな案件創出に向けたFS調査を昨年10月より実施。 ○今年1月より8つの事業提案について事業化推進会議を開催し、新たな事業創出に向けた取組を推進。	
	※その他、平成28年度予算案において、本構想の重点分野を対象とした地域振興に資する実用化開発等のために69.7億円、必要な調査等の実施のために1億円の予算を盛り込んだ。			
3. 事業化に向け更に検討が必要なもの			事業概要	進捗状況・スケジュール(案)
国	国際産学連携	産学官共同研究室(b)(放射線の知識が必要な研究分野を対象)	○放射線の知識が必要な先端研究を実施する共同研究施設を設置。	○平成30年度以降、事業化。 ○引き続き事業化に向けて検討。
	大学教育拠点	○上記の産学官共同研究室(b)を拠点に具体化を図る。		
	技術者研修拠点	○廃炉人材育成、防災研修について民間主体で検討し、具体化。	○平成29年度以降、事業化。 ○具体化に向けて、民間企業等による検討を開始。	
	(県)ハイテクプラザ浜通り分所	○県がハイテクプラザ浜通り分所の設置を検討。	○現在、ハイテクプラザ浜通り分所の設置について検討中	
4. 一部事業化に着手済みだが、更に検討が必要なもの			事業概要	進捗状況(主なもの)
県	エネルギー関連産業	○10のプロジェクトを提示し、一部着手済み。 今後、更なる具体化。	○平成28年度予算案において、避難解除区域等における再生可能エネルギーの導入を図るため、44.9億円の予算を盛り込んだ。 ○各プロジェクトの詳細を検討するための会議体を設立。 ・再エネ復興推進協議会(27年7月31日) ・風力発電構想検討会委員会(27年7月2日) ・スマートコミュニティ推進検討会(27年5月28日) など	
	農林水産プロジェクト	○8のプロジェクトを提示し、一部着手済み。 今後、更なる具体化。	○平成28年度予算案において、ロボットトラクタなどのロボット技術等の開発・実証のため、1.3億円の予算を盛り込んだ。(農水省+県予算) ○平成28年度予算案において、県水産試験場の機能強化を目的とした施設等の整備のため、0.9億円の予算を盛り込んだ。(水産庁+県予算) ○大熊町植物工場設計業務の公募を開始。 ○CLT推進検討委員会において、CLT工場の整備を検討。 など各プロジェクトの詳細を検討中。	